

製品名: Dlx-2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10025**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	42kDa

抗原情報

遺伝子名	DLX2
別名	Homeobox protein DLX-2
遺伝子 ID	1746.0
SwissProt ID	Q07687
免疫原	ヒト Dlx-2 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 101-150

背景

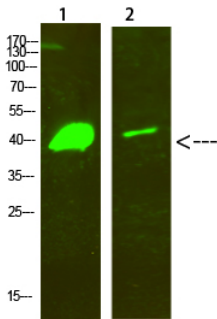
ショウジョウバエの発生遺伝子との配列相同性に基づき、多くの脊椎動物のホメオボックス含有遺伝子が同定されている。Dlx 遺伝子ファミリーのメンバーは、発生中のショウジョウバエの頭部と四肢で発現する遺伝子である Distal-less (Dll) のホメオボックスと関連

するホメオボックスを含む。Distal-less (Dlx) 遺伝子ファミリーは、少なくとも6つの異なるメンバー (DLX1~DLX6) から構成される。DLXタンパク質は、前脳および頭蓋顔面の発生に関与すると推定されている。この遺伝子は、2番染色体長腕上に、遺伝子ファミリーの他のメンバーと尾同士が連結して位置している。[RefSeq提供、2008年7月]、機能: 前脳腹側の発生において調節的役割を果たす可能性が高い。頭蓋顔面のパターン形成および形態形成に役割を果たす可能性がある。類似性:遠位レスホメオボックスファミリーに属します。類似性:1つのホメオボックスDNA結合ドメインを含みます。、

研究分野

-

画像データ



Dlx-2 ウサギポリクローナル抗体 (1:500 希釈、4°C、一晚) を用いた 1,heLa 2,マウス脳細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体: ヤギ抗ウサギ IgG IRDye 800 (1:5000 希釈、25°C、1 時間)